

エリマネ ニュース

第 26 号

深谷台小学校エリアの広報紙

発行日：H25 年 3 月 31 日

発行者：深谷台

地域運営協議会

連絡先：深谷台小学校内

地域交流室

TEL：392-5735

<http://www.drsansan.jp>

H24年度 協議会は こんなことも始めました

深谷台地域運営協議会では、月 1 回の定例会議を開く他に、以下のような活動を行ってきました。それぞれ協議会メンバーが中心となり、他の人々も参加して進めています。

卓球室「ニコニコクラブ」スタート

小学校内の地域交流拠点活性化の一環で、10 月より始めました。深谷台小学校プレハブ校舎 2 階で、毎週水曜日 2 時半～5 時。

2 月末現在 35 名の愛好者が登録し、和気あいあい楽しんでいます。



うらうらしゃべり場

24 年 12 月スタート。月 1 回地域交流室にて。

主に子育て中の親が集まって、自由にしゃべり合う場です。子育て世代対象のアンケートから生まれた活動です。

子育て世代の皆さん、ぜひ気軽にご参加ください。



福祉連絡会

地域の 5 福祉団体が隔月に集まり、非常時や災害時にできることを話し合いました。一時の居場所になれる、炊き出しができる、プロパンガスが使える、など、互いにできることを共有し、さらに防災情報の徹底などを検討しています。

協議会のホームページ

「ドリーム燦燦」を開設

24 年 10 月にスタートしました。協議会と構成団体の情報発信と共に、地域の活動団体の情報も発信できるようになりました。

エリマネニュースもカラーで見ることができますし、ちこネットのアンケート結果全てを読むこともできます。ぜひ、開けてみてください。

<http://www.drsansan.jp>

ちこネット（地域と子どもネットワーク会議）

昨年 3 月に実施した子育て世代対象の調査をまとめた速報版を 6 月に全戸配布しました。

その後クロス集計結果も参考に、概要版を作成中です。カラー A3 版 8 ページで、4 月には全戸配布します。ご意見をお待ちしています。



楽しいよアフタースクール

子ども達は2時20分頃になると三々五々、集まってくる。自分で出欠を記入し、名札をとり、教室内へ。ロッカーにランドセルを入れて宿題を取りだすと、好きな机に座ってすぐにとりかかる。すっかり慣れた動きである。九九を聞いてもらっている子、算数のミリリットルなどの単位を教えてもらっている子、問題を解いて先生に見てもらっている子。時に、お母さんに宛てて『頑張ってますよ』というコメントが書かれることもある。「漢字100点だった」と体を弾ませて喜んでいた女の子。



しばらくすると、国語の教科書を持って、先生と隣の部屋に移動していく。そこでは対面に座って、音読を聞いてもらっている。何人かで声を合わせている子達も。だんだん声が大きくなり、はっきりしてくるのがわかる。

3時を過ぎると、低学年が減り、ぐっと大きな高学年の子たちが来て、ささっと短時間に宿題をやり上げて帰って行く子や、居心地がよいらしく時間になっても帰ろうとしない女の子がいたり。「アフタースクール好き」という子に理由を聞いた。「友達と一緒にやれる」「家だとゲームとかやってしまうけど、ここでは集中してやれる」「分からないところを教えてもらえる」「宿題を済ませると家でやらなくてもいい」みんな「これからも続ける」と答えてくれた。



先生たちの定例会

先生たちは地域のボランティアだ。月に1回の定例会が13時から開かれていた。熱心に子どもや勉強のことが話されている様子。2時になると、2階の教室に行き、準備が始まる。廊下に机を出して、名札と名簿を並べる。教室の前面の黒板に今日の嬉しいお知らせが書きだされ、前の机に並べられたのは1年間頑張ったご褒美の色とりどりのノートと消しゴム。子ども達は大喜びだ。驚いたことに、宿題の後、自主的に取り組むプリントは、指導員の方が教科書に合わせて作成されるという。100点やマルをもらいたいために易しい問題ばかり選ぶ子達にハッパをかけるため、チャレンジコーナーを作ろう、と話しあっていた。本当に子ども達思いの優しい指導員の方たち、「最初のころと比べて肩の力が抜けてきた」との言葉。確かに先生同士のよい関係、自然で温かい雰囲気、子ども達を包み込んでいるようで、子ども達も我が家で友達と勉強しているような自然な感じで楽しそうだった。先生たちはどなたも口をそろえて「楽しい」とおっしゃっていた。



アフタースクールは、平成22年に始まった。プレハブ校舎2階で、月曜・木曜の午後2時半～4時半に開かれている。現在は136名の子どもが登録し、1日に出席する子は約50人。年間延べ3000人以上が出席している。指導員は16名。“勉強が楽しくなること”を目的に熱心に続けられている。

斉藤校長先生は「地域の方にほめてもらい、大事にもらい、本当に子ども達は幸せ」ととても感謝をしておられた。



パトロールしています！



“子どもから防犯意識を”とアークブラザの夜回り。この日は公園でたばこの吸い殻をたくさん見つけました。出発前に揃ってハイポーズ。

私たちが住むこの地域では、様々なボランティア活動が活発に行われていますが、その中のひとつに、自治会主催の防犯・防災パトロールがあります。

『私たちの街の安全は、私たちが守る！』

自治会によって、パトロールの内容や実施する曜日、時間が異なりますが、昼は児童の登下校の見守りの他、不審者や不審物の発見、ルール違反の車やバイク・自転車などを見回り、夜は拍子木を使って注意を呼び掛けています。



県ハイツでは、役員・幹事・ボランティアの方々。頼もしくも楽しげに見えました。

パトロールは気長な活動です。すぐさま効果が現れるものではありませんが、気づかないところで、防犯・防災の意識が高まり、さらには輪も広がり、犯罪のおこりにくい環境が整い揃っていくことでしょう。

こんな地域にしたいー夢みんの想いー

夢みんでは、設立後 18 年目を迎えるにあたり、改めてどんな地域を目指すのか、そのために“夢みんは何をしていくのか”を話し合いました。「大家族のように互いを気にかけて合う地域」「好きなことができる地域」「IT 機器を使いこなす情報先進地域」などそれぞれの想いが語られました。そして、以下のようにまとめました。

こんな地域にしたい

- 人と人がつながり、支え合える地域
- 誰もが安心して、健康で快適に過ごせる地域
- 地域の多くの団体が必要に応じて連携協働できる地域

夢みんがやっていくこと

- ◆ニーズに合った魅力的なプログラムを実施する
- ◆一人ひとりが好きなことができる場をつくり、応援する
- ◆人と人をつなぐ場、交流の場をつくる
- ◆非常時・災害時に一時の居場所となる

まもなくドリームハイツは、コミュニティが壊れると言われる限界団地（高齢化率が 50%）になろうとしています。そんな中、できるだけ元気で、互いに支え合える地域にしていきたいものです。



大人気の健康体操

—あそびの広場—俣野公園プレイパークは毎月開催に！

プレイパーク一月の
どんと焼き



ドリーム文庫 新刊紹介

| | |
|--------------------|--------|
| キャパの十字架 | 沢木 耕太郎 |
| 無私の日本人 | 磯田 道史 |
| 何者 | 朝井 リョウ |
| 犬とハモニカ | 江國 香織 |
| ことり | 小川 洋子 |
| 母の遺産 | 水村 美苗 |
| 等伯（上）（下） | 安部 龍太郎 |
| 死の淵を見た男 | 門田 隆将 |
| （吉田昌郎と福島第一原発の500日） | |
| 水のカタチ（上）（下） | 宮本 輝 |
| めぐみと私の35年 | 横田 早紀江 |
| 利休にたずねよ | 山本 兼一 |
| 世界から猫が消えたなら | 川村 元気 |
| 文芸春秋（芥川賞 abさんご） | 黒田 夏子 |



手伝ってくださる方、大募集

これまで隔月に行ってきたプレイパークを、4月から毎月開催します。

「子ども達がいろいろな体験を重ねて、痛いことや失敗もしながら自ら遊ぶ力を育て、子ども同士、いろんな世代の人と関わってほしい」との大人の想いがありました。そして子ども達からも「毎月やってほしい!」とせがまれていました。ネックは、スタッフの手です。でも少しずつ手伝ってくださる方があり、常連の子ども達が中学生になってしっかりスタッフとして働いてくれるようになりました。そこで決断をして、決めました。毎回300人位の子どもの家族が集まって遊んでいます。

毎月第2土曜、10時～15時 俣野公園で

スタッフ募集：毎回でなくていいです。出られる時だけ、短時間でもいいです。ちょっと早く来て準備をしたり、帰る前に後片付けを手伝っていただけるだけでもとても助かります。お子さんと一緒に遊びながら、ちょっと他の子どもたちにも目配りして下さるだけでもいいです。下記までお電話ください。又は開催当日お声をかけてください。

関義武（852-1670）

光藤（851-8573）

松本（851-8279）

【広告】

ほっと理容室

（予約優先）TEL 045-852-8550

定休日：毎週火曜日、第2、3月曜日

営業時間：8：30～19：00

横浜薬大南門（旧ランド坂下）バス停のすぐそば

大人 3000円 大学生 2800円 高校生 2500円 中学生 2200円

小学生以下 1300円（カットのみ） 女性顔そり 1800円 出張理容 3500円（カットのみ）



☆あとがき☆

3月は幼稚園、学校を卒業する人、職場の異動、転勤、退職する人。明けて4月は進級、進学、新入社員として夢と希望に満ちた新しい人生のスタートを切る人と、この時期は悲喜こもごもおりまざり、まさに出会いと別れの季節。変化するのは悪くない。現状にとどまらず又一步前に踏み出せるのだから。